



谷 禎一議員

平時、災害時の 上下水道の整備は

問 周辺市町村と協力して県水の受水料金の値下げを個人でも協議中。水料金の値下げを個人でも協議中。料金未確定、給水設備の改修計画も不十分のままでの県水移行は拙速すぎる。耐用年数を経過した水道管は放置せず、他の事業より優先し、適切な改修計画による早期対応を求める。災害時の応急対策について、他市町村との連携や協議は？

平岡町長 県水の料金は県営水道受水協議会と県とで協議中ですが、10月1日に切替予定。耐用年数を経過している上水道管は平成25年より2億円程度を予算化。香芝市とは災害時の配水管の接続を協議中。

危険状態にある 歩車道の取組は

問 3m未満の自歩道は昨年10月に警察庁より都道府県警察に見直しするよう通達がだされている。6月議会で路面表示（同対処では解決でき

ない）、バリアフリー化に取組むと回答、以後の取組は。また、危険場所について香芝警察より改修の要望が（一年前より）町にだされていると聞く。その後の対応は？

平岡町長 既存3m未満の歩道は香芝警察とも協議して通行幅を広くすべく剪定した。今後も支障なきよう管理する。自転車走行は交通指導員による指導も実施。香芝警察署より先月の改修箇所の要望は関係機関と協議中です。

「地域福祉計画」について

問 地域福祉計画の基本理念は、行政の給付という従来の社会福祉を、地域住民が互いに支えあう新しい時代の社会福祉に根本から変える住民参加の計画である。本町は分野ごとに事業推進しており総合的な横の連携ができず、小さくまとまってしまう。地域防災も同様に懸念される。

平岡町長 6月議会と同様分野ごとに各計画を策定しております。地域防災分野についても同様に災害時に対応できるようにデータ化した情報を各地域の民生、児童委員に提供。自主防災組織及び地域防災の推進をおこなっている。



堀川 季延議員

町内の信号機の 設置要望について

問 毎年、区・自治会、PTA等が地域の交通事情を点検され、危険な箇所について、町に対し交通安全施設の設置要望が出されている。その中で、信号機の設置について、どの場所に何力所要望が出ているかお尋ねしたい。

また、大字平尾の白髪池北東角の、県道枚方・大和高田線に交差している五差路は、過去に死亡事故があり、農家の耕作地が県道の東側に多く、横断が非常に危険である。信号機の設置を要望したいがどうか。

平岡町長 信号機の設置要望については、新設要望が、百済、広瀬、みささぎ台、大野の4箇所、機能変更として、南郷、馬見中1丁目の2箇所の要望を受け、県交通規制課に上申しており、結果を待っている。

今回の平尾区の設置要望については、県道管理の高田土木事務所と協議し、香芝警察署を通じて県交通規

制課に上申するが、県予算の関係から、実現に向けてはかなり厳しいところだ。

小学校図書室に 常勤のスタッフ配置を

問 広報9月号に「小・中学校図書室司書の募集」案内が掲載されているが、具体的な活動内容をお尋ねしたい。

特に、小学校の保健室や図書室は子どもたちの出入りが多く、相談相手として話しに耳を傾けることで、いじめと思われる情報も速やかに対処できると思う。本の整理だけでなく、幅広い活動に期待する。また、1校に1人の週20時間以上の常勤司書の配置を実施されたい。

安田教育長 司書は、町立図書館に籍を置き、各学校に週2日出向き、放課後において児童・生徒の読書指導や図書に関する相談に応じる。また、図書の整理や修繕、図書室の月毎や季節毎のコーナー設営などを展開していただき、児童・生徒の読書意欲を高める環境づくりや、やさしさのある窓口対応に努めていただく。当面、実施の状況を見ながら、今後の司書の勤務体系の見直しを進める。